

**TAIYO 梁吊り具 KT-1**

**取扱説明書**

① 大洋製器工業株式会社



**【注意】必ず、ご記入の上、保管してください。**

販売店

ご購入日 年 月 日 ロットNo.

ご購入店

住 所

T E L

## はじめに

このたびは、大洋製器工業株式会社のTAIYO梁吊り具KT-1 (以下、KT-1) をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

KT-1は、鉄骨建築で使用するH鋼の梁、柱を吊る治具です。H鋼のボルト穴を利用する、これまでにない安全性と作業性に優れた製品です。フランジの厚さが20mmまでのH鋼を吊ることが可能なため、荷降ろし、移動、組付けと、吊り作業が可能です。ボルト、ナットを使用しないため、落下を防ぎかつスピーディーな吊り具の取り付け、取り外し作業を実現します。

この取扱説明書は、KT-1を正しく安全にご使用いただくためのものです。ご使用前には、必ずよくお読みになり、安全な使用方法を熟知してからご使用ください。

### アフターサービス

本製品については、弊社にて、メンテナンスサービスをご利用いただけます。指定研修の修了者による保守管理技術によって、常に安全な状態でご使用いただけるように研鑽をつづけております。

お問い合わせは、ご購入店までお願いします。

## 安全な吊り金具

KT-1は「荷降ろし作業」と「建て方作業」に抜群の安全性を発揮します。取り外しが容易なため、不安定な高所作業でも安全に作業できます。

### ① 丈夫な吊り金具

KT-1は本体、ピンともに、特殊鋼を使用することで高い強度とコンパクト化を実現させました。通常の吊り金具より、更に安心してご使用頂けます。

### ② ワンタッチで、簡単取り付け

KT-1はワンタッチで、簡単に取り付けられるため、スピーディーな作業を可能としています。

### ③ ツータッチで、安全に取り外し

取り外し時は、ツータッチでの取り外し操作により、吊り上げ作業中の誤使用によるピンの抜けを防止します。更に片手でも取り外しが可能な構造のため足場が不安定な高所等でも安全に作業できます。

### ④ ピン一体化で、落下事故を防止

ピンと本体が一体化しており、高所作業時におけるシャックルのようなボルト、ナットの落下事故を防止できます。また、落下事故の心配がないため、他の作業に集中でき、うっかりミスの回避につながります。

### ⑤ 作業時間の短縮

取り付け、取り外しが簡単に行えるため、作業時間の短縮に貢献します。

## TAIYO 梁吊り具 KT-1 をご使用になる前に、必ずお読みください。

KT-1の使い方を誤ると、吊り荷の落下などの危険な状態になります。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使いください。

KT-1を購入し使用される事業主はもとより、作業される方に『クレーン等安全規則』『玉掛け用クランプの作業マニュアル』『貴社の作業基準』などを教育し、作業される方が、KT-1の知識・安全の情報・そして注意事項の全てについて熟知されたことを確認の上、作業に従事させてください。

※取扱説明書をお読みになった後は、作業される方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

### 1 取り扱い全般について

- 取扱説明書を熟知しない人は、使用しないでください。
- 法定資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないでください。  
(クレーン等安全規則第221条・第222条)
- 吊り上げ運搬中や反転作業中には、吊り荷の落下、転倒範囲内に立ち入らないでください。  
(クレーン等安全規則第29条)
- 玉掛け作業以外には使用しないでください。
- 作業開始前の点検や定期点検を必ず実施してください。  
(クレーン等安全規則第217条・第220条)

### 2 作業前の確認について

- 作業方法に適合しない物には使用しないでください。
- KT-1の変形、き裂、作動不良、摩耗等異常のあるものは使用しないでください。
- 吊り荷の荷重が、使用するKT-1の使用荷重の許容範囲内であること。
- 吊り荷の厚さと穴径が使用するKT-1の許容範囲内であること。
- 常温にて、使用してください。高温・低温下で使用しないでください。
- KT-1に使用するスリングは、玉掛け作業に適合したものを使用してください。

### 3 玉掛け作業について

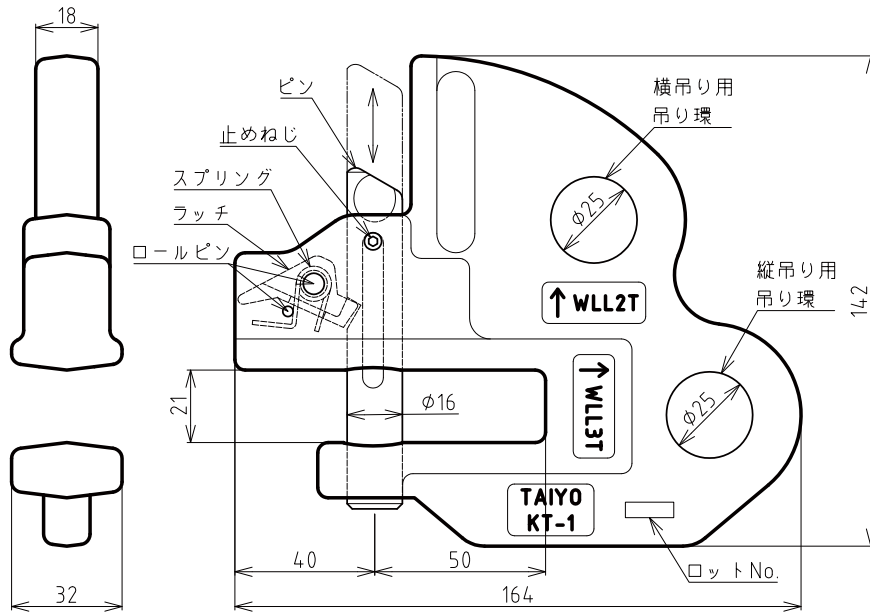
- 吊り荷からKT-1を取り外した後は必ずピンをロック位置に戻してください。
- 強風時、危険が予想される場合はKT-1を使用しないでください。
- KT-1の取り付けは、2個以上のKT-1でバランスを保つ位置に取り付け、吊り荷の安定を図るようにしてください。
- KT-1の吊り角度、および掛け幅角度は規定の角度以内で使用してください。
- KT-1を投下したり、引きずったりしないでください。

### 4 保守点検・保管・改造について

- 改造は、絶対にしないでください。
- 溶接、加熱などをしないでください。
- 弊社純正部品以外は、絶対に使用しないでください。
- 修理が必要なKT-1は、別の場所に保管し、誤って使用されないようにしてください。
- 保守点検は、事業者が定めた専門知識のある人が行ってください。
- 保守点検で異常があったときは、そのまま使用せずただちに補修、または廃棄してください。
- ピン・ラッチに噛み込んだ塗料・汚泥等を除去してください。
- 保守点検は、必ず空荷(吊り荷が無い)の状態で行ってください。
- 保守点検は、点検作業中の表示(『点検中』等)を行ってください。
- KT-1のスプリングを点検時、動作に支障がある場合は、注油してください。
- KT-1は必ず室内に保管してください。

【ご注意】分解・組み立てを伴う検査項目・点検基準は、必ずご購入店へお問い合わせください。

各部名称・寸法



吊り荷重	横吊り	2t
	縦吊り	3t
質 量	1.7kg	
ピ ン 径	16mm	
H鋼フランジ厚	20mm まで	
懐 寸 法	50mm	
外形寸法	H=142 W=164 D=32	

(1) 本体の表示確認

本体には、型式、使用荷重、ロットNo.が刻印されています。ご使用前に、必ず刻印の表示を確認してください。  
また、月例点検後は点検が済んだことが分かる表示をし、その表示のあるものを使用してください。

(2) 吊り荷重の確認

吊り荷の荷重は使用荷重の許容範囲内で使用してください。

(3) 吊り荷の厚さの確認

吊り荷の厚さと穴径は、KT-1の許容範囲内で使用してください。

(4) 作業前点検

作業の開始前に必ず点検を行なって下さい。点検の要領と基準は『点検の種類と要領・処理』(P9)に記載されています。KT-1に変形、き裂、摩耗等異常のあるものは使用しないでください。

## 使用方法 取り付け

- 1 最初に写真①のように、ピンを引き上げておきます。  
※ ラッチを開放すると、ロックが解除され、ピンを引き抜けます。



- 2 写真②のように本体を持ち、吊り穴にピンの先端をあわせませます。



- 3 写真③のように、ピンの頭を、“カチッ”と音がするまで差し込みます。  
※ ピンが確実にロックされている事を確認してください。



- 4 セット完了

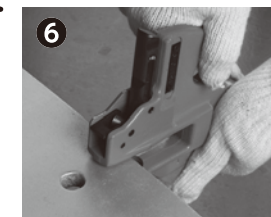


## 使用方法 取り外し

- 5 写真⑤のようにラッチのロックを解除し、ピンを引き上げます。

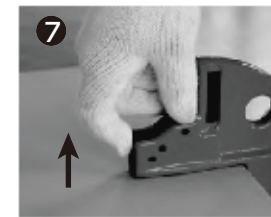


- 6 取り外し完了。  
取り外し後は必ずピンを押し込んで本体に収納してください。ピンを出したままにしていると、移動中にピンが鋼材等に当たり、本体などが破損する恐れがあります。



## 片手での取り外し方について

- 1 写真⑦のように、指にラッチを引っかけて、引き上げます。



- 2 写真⑧のように、ラッチを引き上げながら、ピンを引き上げて、ロック解除します。



## 保守点検について

KT-1を使用する作業における事故を未然に防止するためには、KT-1を常に良い状態に保つことが必要です。

そのために適切な点検を行なうことが大変重要です。

この章では保守点検の要領や基準について記載されています。

### 点検の種類と要領・処置

#### ① 作業前点検

作業開始前にKT-1の外観、及び機能を目視にて点検をしてください。異常が認められた場合は使用禁止とし、弊社修理、または廃棄してください。

#### ② 月例点検

月例点検を毎月1回以上行なってください。月例点検ではKT-1の外観、及び機能を目視にて点検し、管理台帳を作成し、検査日、場所、検査結果を記録してください。月例点検の結果、合格品については、点検済みの識別表示を行なってください。

#### ③ 定期点検

KT-1の管理者は期日を定め、定期的に分解点検をご購入店に依頼、実施し、点検時期および内容を記録・保管してください。(有償)

### KT-1 使用上のご注意

#### 吊り作業が終了後

#### 次の鋼材を取りに行く時は

#### 必ず、ピンを本体に収納して下さい

ピンが収納されていないと、ピンが鋼材、ネット等に引っかかり、重大事故につながるおそれがあります。

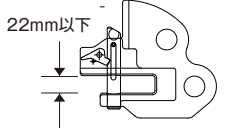
また、本体などが破損することもあります。

ピンを収納しなかった事による事故、損害については保証されない場合があります。



## 点検表 (参考)

※必ず点検表に記録し、保管して下さい。

型式KT-1		ご購入日 年 月 日		
点検日	年 月 日	ロット	No.	
	点検項目	点検方法	結果	×の場合の処置方法
			○×記入	
動作確認	正常な動作が可能か?	ピン・ラッチを 作動させる		使用中止。各部の点検を行い、原因となる部品交換を行う。本体が原因の場合は廃棄処分する。
本 体	開口部の開き			22mmを超える場合は、廃棄処分する
	変形、き裂、 磨耗、錆び	目 視		使用中止。交換する。
	各製品の 脱落	目 視		使用中止。交換する。
ピ ン	き裂、磨耗、 錆び、曲り	目 視		使用中止。交換する。
ラ ッ チ	き裂、磨耗、 錆び、曲り	目 視		使用中止。交換する。
ス プ リ ン グ	変形、破損、 錆び	目 視		使用中止。交換する。
止 め ね じ	変形、磨耗、 錆び	目 視		使用中止。交換する。
ロ ー ル ピ ン	変形、破損、 錆び	目 視		使用中止。交換する。